

週間市場レポート (2022年4月25日~4月29日)

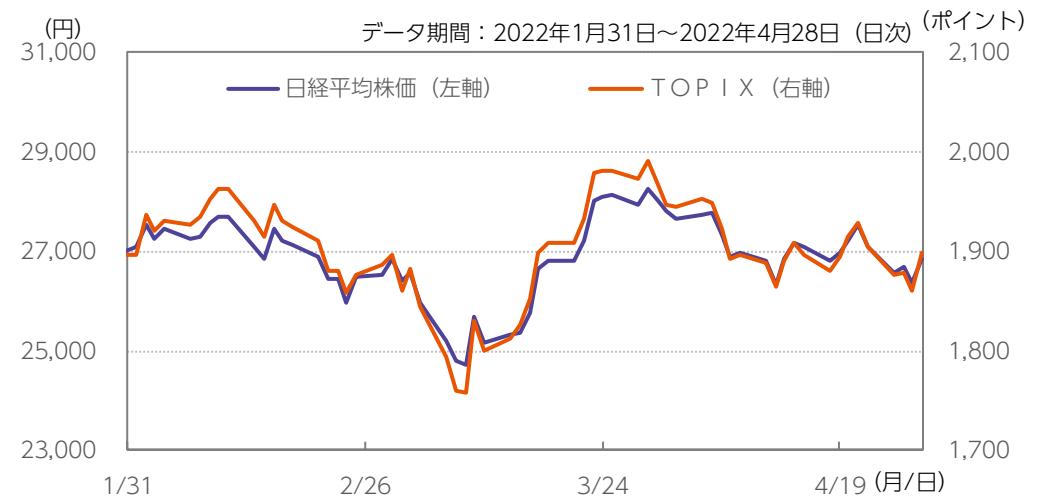
1) 先週の市場動向

指数名	国	前週末 2022/4/22	先週末 2022/4/29	前週末比 (%)
日経平均株価 (円)		27,105.26	26,847.90	▲ 0.95 ↓
TOPIX (東証株価指数)		1,905.15	1,899.62	▲ 0.29 ↓
ダウ工業株30種平均 (ドル)		33,811.40	32,977.21	▲ 2.47 ↓
S&P500種指数		4,271.78	4,131.93	▲ 3.27 ↓
ナスダック総合指数		12,839.29	12,334.64	▲ 3.93 ↓
ユーロ・ストックス50指数		3,840.01	3,802.86	▲ 0.97 ↓
S&P/ASX300指数		7,476.17	7,434.88	▲ 0.55 ↓
上海総合指数		3,086.92	3,047.06	▲ 1.29 ↓
MSCI AC アジア (除く日本)*		855.32	865.14	1.15 ↑
東証REIT指数		1,993.61	1,975.75	▲ 0.90 ↓
FTSE NAREIT All-Equity REIT 指数		938.79	887.28	▲ 5.49 ↓
ASX300 REIT 指数		1,634.40	1,644.00	0.59 ↑
グローバルREIT (除く日本)*		220.47	210.78	▲ 4.39 ↓
日本10年国債 (%)		0.250	0.230	▲ 0.020 ↓
米国10年国債 (%)		2.899	2.934	0.035 ↑
ドイツ10年国債 (%)		0.972	0.938	▲ 0.034 ↓
英国10年国債 (%)		1.963	1.905	▲ 0.058 ↓
ドル/円		128.50	129.70	0.93 ↑
ユーロ/円		138.79	136.95	▲ 1.33 ↓
英ポンド/円		164.99	163.00	▲ 1.21 ↓
豪ドル/円		93.08	91.65	▲ 1.53 ↓
フィラデルフィア半導体指数		2,989.83	2,919.74	▲ 2.34 ↓
WTI原油先物 (ドル)		102.07	104.69	2.57 ↑
CRB指数		304.23	308.27	1.33 ↑

2) 日本の株式・債券市場

≪ 株式 ≫

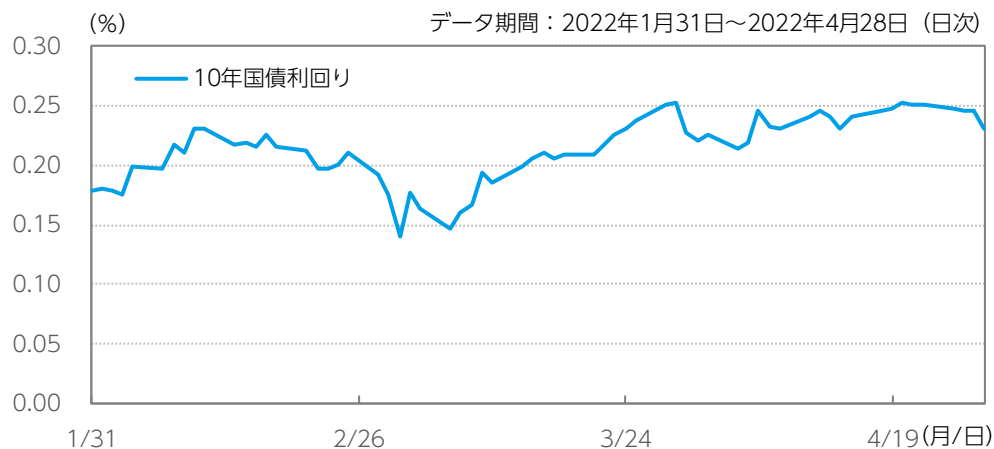
日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で下落しました。中国の上海や北京などの大都市で新型コロナウイルスの感染が拡大し、世界景気の減速やサプライチェーン（供給網）の混乱への懸念から、機械や鉄鋼、海運などの景気敏感株を中心に売られました。週末は、日銀金融政策決定会合で、金融政策の現状維持が決定され円安が進行すると、輸出採算の改善期待から上昇したものの、週間では下落となりました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成
※現地通貨ベース *1 ▲はマイナスを表します。*2 国内市場は休場のため4月28日のデータを掲載

≪ 債券 ≫

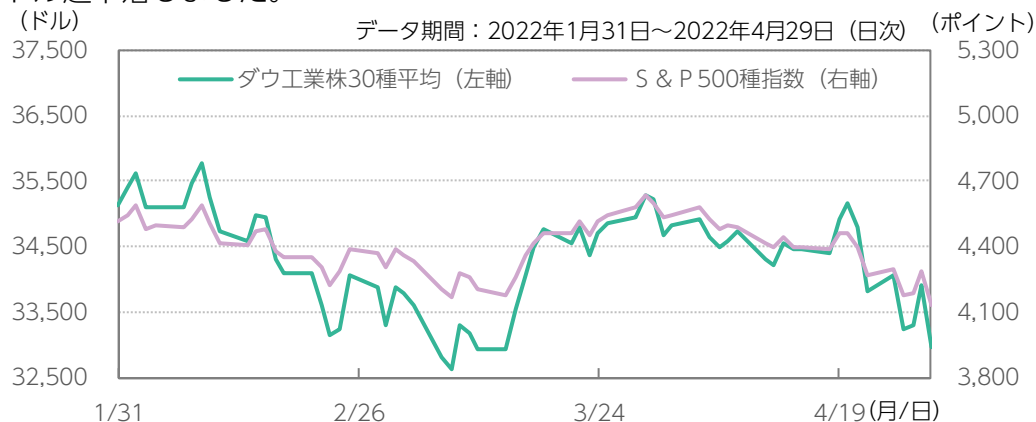
日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で低下しました。週末の日銀金融政策決定会合で、指定の利回りで国債を買い入れる指し値オペ（公開市場操作）の連日実施が決定されると、日銀の金利抑制姿勢が意識され低下しました（価格は上昇）。



3) 米国の株式市場

≪ 株式 ≫

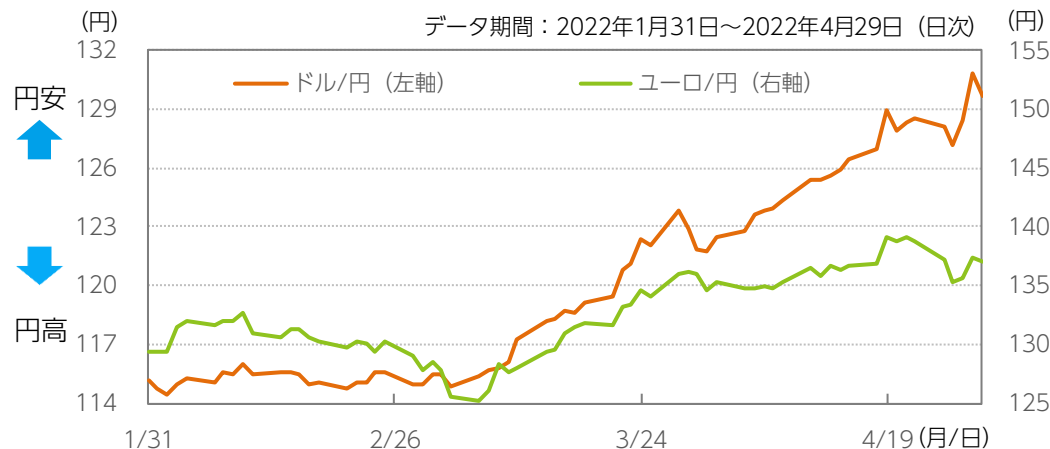
米国株式市場（NYダウ）は、前週末比で下落しました。週初は、前週末に大幅下落した反動で買戻しが進んだものの、中国の新型コロナウイルス感染拡大で世界景気の減速やサプライチェーン混乱への懸念が強まり、再び大幅下落しました。米連邦公開市場委員会（FOMC）を控え様子見ムードが高まるなか、好決算銘柄が買われ大きく上昇する場面もあったものの、週末は低調な決算を発表した大手通販を中心に売られ、一時1,000ドル超下落しました。



出所）ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

4) 外国為替市場

米ドル/円相場は、前週末比で円安米ドル高となりました。米長期金利の上昇がやや一服し、日米金利差の拡大観測をもとに下落した円を買い戻す動きが優勢となる場面もあったものの、日銀金融政策決定会合で、大規模な金融緩和を続ける日本と米国の金融政策の方向性の違いが改めて意識されると、週末は円売り米ドル買いが進行しました。



5) 今週の見通しについて

先週の株式市場は、世界景気の減速懸念や米連邦準備制度理事会（FRB）による早期利上げや金融引き締めへの警戒感から下落しました。ロシアによるウクライナ侵攻が続くなか、ロシアは通貨ルーブルでの代金支払いに応じなかったとし、ポーランドとブルガリアへの天然ガスの供給を停止しました。欧州のロシアへのエネルギー依存度は高く、欧州域内のさらなるインフレの加速と景気減速が懸念されます。国内では、先週末に開催された日銀金融政策決定会合で、金融政策の現状維持が決定されるとともに、指値オペを毎営業日実施することが決定されました。日銀が長期金利の上昇を抑制する姿勢が改めて確認されたことから、外国為替市場では一時1米ドル＝131円台まで円安が進行しました。今週は、3～4日の日程でFOMCが開催されます。市場では、0.5ポイントの利上げと保有資産縮小の開始が決定されるとの見方が大勢を占めています。今会合で特段のサプライズもなく波乱なく通過することとなれば、買い安心感が広がり、株式市場は上昇するものと予想します。

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506

9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>